

## 江東区保健所における歯科医師臨床研修の経験

昔 農 淳 平<sup>1)</sup> 古 地 美 佳<sup>2,3)</sup> 関 啓 介<sup>2,3)</sup>  
河 越 邦 子<sup>2,3)</sup> 竹 内 義 真<sup>2,3)</sup> 紙 本 篤<sup>2,3)</sup>

**抄録：**日本大学歯学部付属歯科病院の臨床研修の中には保健所研修がある。この経験を通して、保健所の目標が公衆衛生の向上を目指すことであると考えた。これは、歯科をはじめとした医療・介護・福祉の根本的な目標と一致している。地域住民の健康という共通の目標のために本人・家族・地域・多職種の人たちが包括的に協力しているという大きな仕組みを理解することは、この枠組みの中で求められる歯科医師の専門領域と存在意義への理解に繋がった。よって、研修歯科医師の時期に健康を考える機会として保健所研修があることは有意義であると考えた。

**キーワード：**保健所研修 歯科医師臨床研修 健康 生存権 公衆衛生 多職種連携

### 緒 言

平成24年に歯科医師の人数が約10万人いる中で、行政機関又は保健衛生業務に従事している歯科医師数はわずかに約300人である<sup>1)</sup>。著者は、日本大学歯学部付属歯科病院の臨床研修プログラムにおける保健所研修を経験し、その研修を通して、国民に対して、保健所と歯科医師の目標が類似していることに気付かされた。そこで本論文では、保健所における研修内容を解説するとともにそこで得られた経験をもとに研修歯科医にとって保健所研修が有意義であることを報告する。

### 研修内容

#### 1 研修プログラムの概要

本施設の研修プログラムは、東京都特別区内保健所における公衆衛生及び健康増進活動を知り、地域歯科保健活動の重要性を理解することを目的とし、東京都内の4つの保健所（江東区、葛飾区、新宿区、世田谷区）に5日間出向するプログラムがある。各施設2名を限度とし研修歯科医の中から希望者が参加できる。今回、江東区保健所で9月1日から9月5日までの5日間研修を行った。

#### 2 江東区保健所の研修内容について

江東区保健所での研修は5日間で計40時間あり、その研修内容は「講義・発表・見学・休憩」の4つに分類され、分類された研修の割合は、講義時間が15時間37.5%（900分）、発表時間が11時間27.5%（660分）、実地見学が7.5時間18.8%（450分）、休憩時間が6.5時間16.3%（390分）であった。これらの研修を通して、

地域診断のサイクルである「情報収集・地域診断・計画・実施・修正・評価」の一連の流れを理解することが目的である<sup>2)</sup>（図1・2）。

講義は、各課の責任者が実際の現場での経験などを踏まえて、地域保健の概要、業務内容および江東区の特徴を説明するものであり、質疑応答が随時できる環境であった。

見学は、「あそびの教室」<sup>3)</sup>、「2歳児歯科健康相談事業」および「健康増進計画・食育推進計画・がん対策推進計画連絡会」という健康増進法に基づく計画の会議が対象であった。「あそびの教室」は、自閉症などが疑われる子供のスクリーニングとともに親の子供への接し方の指導を行う現場であった。担当する職員は事前に参加者の情報を共有してから、お遊戯から始まり、子供と保護者が一緒に小麦粉に水と染料をいれて混ぜて作った粘土で遊び、この時の子供の表情や態度、親子の接し方を観察していた。最後に子供を別のところで遊ばせて、保護者を集めてアドバイスをを行い、参加者が帰宅した後、職員同士でフィードバックを含めたミーティングを開催して今後の参加者への対応方法を検討した。「2歳児歯科健康相談事業」は、区民の歯科検診であった。「健康増進計画・食育推進計画・がん対策推進計画連絡会」という健康増進法に基づく計画の会議は、参加者である保健所職員・江東区に關係する大学病院の教職員・三師会の役員・区民・病院関係者などが、保健所職員のまとめた計画に基づく今年度の実施状況と今後の改善点についての発表を行った後に多方面から意見の交換が行われる会議であった。

<sup>1)</sup> 日本大学歯学部付属歯科病院

<sup>2)</sup> 日本大学歯学部卒直後研修分野

<sup>3)</sup> 日本大学歯学部総合歯学研究所歯学教育研究部門

<sup>1)</sup> Nihon University School of Dentistry Dental Hospital, 1-8-13 Kanda-surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo 101-8310, Japan.

<sup>2)</sup> Department of Comprehensive Dentistry and Clinical Education, Nihon University School of Dentistry

<sup>3)</sup> Division of Dental Education, Dental Research Center, Nihon University School of Dentistry

発表は、講義と見学を通して学んだことをもとに研修歯科医が自分で江東区に必要な施策を考え、保健所職員に対して最終日に 30 分間の持ち時間で行った。発表資料作成に用いる統計資料や職員との話し合いにより情報収集を行い、浮かび上がる江東区の問題点を抽出し、テーマを決め、それに基づく詳細な資料の追加や他の地域で行ってきた施策を参考にして事業計画を立案し、立案時に施策開始前後の統計収集・アンケート調査の方法や目標値を設定した。発表は 20 名以上の

職員の方を対象に質疑応答を含め行った。

研修の感想

「保健所の役割」とは、一言で言うと「医・食・住・獣」にまとめられると考える。「医」とは予防のための健診・医療従事者や施設の許認可・感染症対策・医療や介護など多職種のマネジメント, 「食」とは栄養指導・食中毒対策・食品営業に対する許認可, 「住」とは住民の公衆衛生に関する統計調査・公害対策・公衆浴場など環境営業施設の許認可, 「獣」は犬や猫の対策, 感染症を媒介する生物に対する対策であり、これらが保健所の業務内容であると認識した。

さらに、保健所について理解を深めていくうちに多岐にわたる仕事内容を一言で表すと「公衆衛生の向上」と認識した。公衆衛生の定義の一つとして「公衆衛生とは組織化された地域社会の努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し身体的および精神的健康と人間の能率の増進を図る科学であり技術である。Winslow (1920)」<sup>3)</sup>がある。公衆衛生の向上を行政が行う必要性については、憲法第 25 条の生存権<sup>4)</sup>にて「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければ

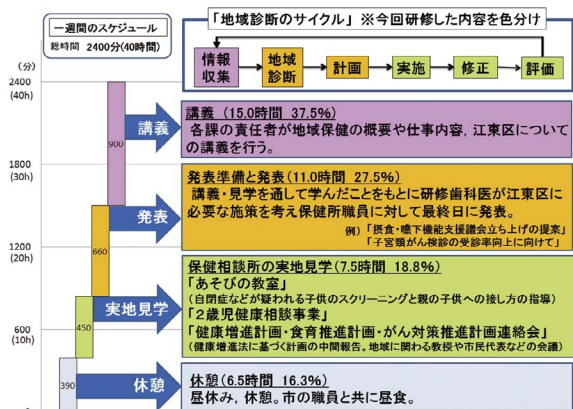


図 1

1日目		
時間 8:30-9:00 内容 全体オリエンテーション ・研修心得 ・事務連絡他	時間 9:30-10:30 内容 保健所長講話 ・保健所の歴史を知る ・保健所の機能を理解する	時間 10:30-12:00 内容 区行政の仕組み ・区行政の仕組みを理解する
時間 13:00-15:00 内容 医療安全 ・医療法、関連法規 ・患者の声相談窓口事例	時間 15:00-16:00 内容 本区の歯科保健状況 ・歯科保健の概要	時間 16:00-17:00 内容 課題研究 ・課題の選定
2日目		
時間 9:00-10:00 内容 健康診査・癌検診の概要 ・検診事業について学ぶ	時間 10:00-11:00 内容 江東区健康増進計画の概要 ・健康づくりについて学ぶ	時間 11:00-12:00 内容 栄養指導 ・栄養指導、食育について学ぶ
時間 13:00-15:00 内容 生活衛生業務の概要 ・生活衛生課の所管業務を学ぶ	時間 15:00-16:00 内容 課題研究	時間 16:00-17:00 内容 感染症対策 ・感染症対策を学ぶ
3日目		
時間 9:00-12:00 内容 あそびの教室 ・体験を交え、母子保健事業の意義を理解する		
時間 13:00-16:00 内容 2歳児歯科相談事業 2歳児の歯科保健状況をする。発達、育児について理解を深める	時間 16:00-17:00 内容 保健相談業務 ・保健所と保健相談所の違いを学ぶ	
4日目		
時間 9:00-10:00 内容 公害保健 ・公害保健の概要を学ぶ	時間 10:00-11:00 内容 保健師活動 ・保健師活動の実際を学ぶ	時間 11:00-12:00 内容 課題研究
時間 13:00-17:00 内容 課題研究		
5日目		
時間 9:00-12:00 内容 課題研究		
時間 13:30-15:00 内容 江東区健康増進計画、食育推進計画、がん対策推進計画連絡会 ・計画に基づく健康増進の実際を学ぶ	時間 15:30-16:30 内容 課題発表 課題の発表とディスカッション	

図 2

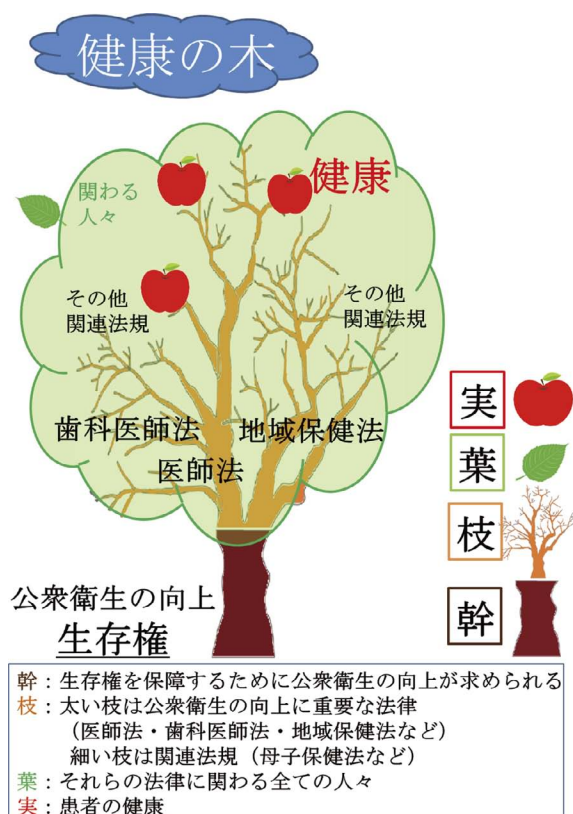


図3 健康の木

ならない。」と規定されている。一方で、「医師法・歯科医師法の第1条」「地域保健法」にも謳われており、公衆衛生の向上は「健康」を目指す歯科医師を含めた全ての職種に共通する目標と感じた。そのことについて「木」を例として説明する。木には幹があり、そこから太い枝が生え、その先端に向かって細い枝が派生する。細い枝の先から無数の葉が茂りそれらが日光を受け最終的に果実を实らせる。これに公衆衛生の向上に関与する法律をあてはめると、幹は法律の根幹である憲法第25条の生存権、太い枝は医師法・歯科医師法・地域保健法など、小さい枝は保健師助産師看護師

法・歯科衛生士法・母子保健法など、葉はそれらの法律に関わる人々で、果実は多くの人々の協力のもと得られる地域住民の健康となる。つまり、公衆衛生の向上に重要な役割を担う医師・歯科医師・保健所をはじめ医療・福祉・介護の専門家や、患者・家族・地域が協力によってはじめて「健康」を得ることができると考える(図3)。

### まとめ

健康に関係する多職種とのかかわりや施設の見学は教育課程にほとんど見受けられない。研修歯科医にとって研修期間は、一人前の歯科医師になるべく自発的に学び始めるものである。研修期間に多方面から「健康」を考える機会を研修プログラムに導入することは必要であり、その一つとして、保健所研修を今回紹介した。保健所研修は、「健康」に対して、多職種連携にどのように歯科が携わっていくかを検討する機会となり、生涯研修の第一歩である歯科医師臨床研修にとって有意義であると考えられ参考にしていただければ幸いである。

### 文 献

- 1) 厚生労働省. 医師・歯科医師・薬剤師調査: 結果の概要. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20c.html> (最終アクセス日 2015年3月30日)
- 2) 末高武彦, 米満正美, 神原正樹, 安井利一, 荒川浩久, 他. スタンダード衛生・公衆衛生学. 第11版. 東京: 学研書院; 2009. 152.
- 3) 岡崎 勲, 豊島英明, 小林廉毅. 標準公衆衛生・社会医学. 第1版. 東京: 医学書院; 2006. 5.
- 4) 末高武彦, 米満正美, 神原正樹, 安井利一, 荒川浩久, 他. スタンダード衛生・公衆衛生学. 第11版. 東京: 学研書院; 2009. 11.

### 著者への連絡先

昔農 淳平  
〒101-8310 東京都千代田区神田駿河台1-8-13  
日本大学歯学部付属歯科病院 総合診療科  
TEL 03-3219-8195 FAX 03-3219-8345  
E-mail: takeuchi.yoshimasa@nihon-u.ac.jp

## Experience of dental training program at Koto ward public health center

Jumpei Sekino<sup>1)</sup>, Mika Furuchi<sup>2, 3)</sup>, Keisuke Seki<sup>2, 3)</sup>, Kuniko Kawagoe<sup>2, 3)</sup>,  
Yoshimasa Takeuchi<sup>2, 3)</sup> and Atsushi Kamimoto<sup>2, 3)</sup>

<sup>1)</sup>Nihon University School of Dentistry Dental Hospital

<sup>2)</sup>Department of Comprehensive Dentistry and Clinical Education, Nihon University School of Dentistry

<sup>3)</sup>Division of Dental Education, Dental Research Center, Nihon University School of Dentistry

**Abstract** : Nihon University School of Dentistry Dental Hospital has a dental training program in public health centers in Tokyo. Participants attend one week training programs. The public health centers goal is the improvement of public health, which provides the right to live. This goal is shared with specialists who engage in medicine, care of the aged and welfare. Patients, families and regions have multidisciplinary cooperation for local residents health. This is an important factor for dentists who answered questions in specialized areas, concerning what is the meaning of our life. This report suggests that dental training programs in public health centers are necessary for dental residents to think about health.

**Key words** : dental training program in public health centers, dental clinical program, health, the right to live, public health, multidisciplinary cooperation